

## 船舶事故調査報告書

平成21年11月19日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	操船者死亡
発生日時	不明（死亡推定時刻は、平成21年3月29日09時ごろであった。）
発生場所	不明（愛媛県伊方町女子鼻灯台から真方位028° 1.4海里付近（概位北緯33° 28.4′ 東経132° 19.8′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年4月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>にしき</sup> 錦丸、4.93トン EH3-52135（漁船登録番号）、個人所有 10.95m(Lr)×2.69m×0.75m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和52年9月16日
乗組員等に関する情報	操船者 男性 53歳 小型船舶操縦士免許を受けていなかった。
死傷者等	死亡 1人（操船者）
損傷	舵及びプロペラに破損、船尾船底に破口
事故の経過	本船は、操船者が1人で乗り、平成21年3月29日05時30分ごろ伊方町豊の浦漁港を出港した。女子鼻沖でたちうおの刺網漁を行ったのち、豊の浦漁港に帰港する予定であった。 09時15分ごろ、女子鼻灯台から真方位028° 1.4海里付近の海岸に乗り揚げている無人の本船が発見されたが、機関が運転状態で、クラッチが前進に入っており、自動操舵となっていた。 10時55分ごろ、女子鼻灯台から真方位140° 500m付近（概位北緯33° 26.9′ 東経132° 19.2′）で、救命胴衣を着用せずうつ伏せで漂流している操船者が、捜索中の僚船に発見され、死因は溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2 海象：海上 平穏
その他の事項	操船者は、僚船に不漁なので帰港するとの無線交信を行っていた。 また、事故当日は10時ごろから地区の集会在り、操船者は出席の予定であった。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 なし 死因は溺水であった。 操船者は、救命胴衣を着用せずに、落水したものと考えられる。 操船者が落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が女子鼻沖を豊の浦漁港に向けて帰航中、操船者が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生したものと考えられる。	